

本会議から付託された議案 12 件の審査を行うため、8 月 30 日に産業建設委員会を開催しました。

議案第 48 号 土地改良事業の計画の概要について

～内容～

平成 29 年度から施行予定の岡山ハイブリッドメガ生産団地構想に基づき、桃の生産団地整備モデル実施地区の指定を受け実施するもので土地改良事業（農地耕作条件改善事業総社地区）の計画の概要を定めるに当たり市議会の議決を経ようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

問：造成する久代地区の 2.3ha の現況の地目は何か。農地法の規制に係る土地になるのか。

答：現在の地目は、田、畑、一部山林で、農地法の規制に係る土地となり農振農用地に編入している。

議案第 49 号 平成 28 年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

～内容～

平成 28 年度総社市水道事業会計における未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第 32 条第 2 項の規定により、市議会の議決を経ようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

問：減債積立金の現在高と未償還残高は幾らか。

答：減債積立金の現在高は、上水道部分が 9 億 2,784 万 9,872 円、簡易水道分は、2,995 万 1,295 円である。未償還残高は、上水道分が 20 億 4,056 万 793 円、簡易水道分は 10 億 9,716 万 2,967 円である。

議案第 50 号 平成 28 年度総社市工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

～内容～

平成28年度総社市工業用水道事業会計における未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第2項の規定により、市議会の議決を経ようとするもの。

～結果～

特に、質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第51号 平成29年度総社市一般会計補正予算（第2号）

～内容～

本委員会の所管に属する部分は、新総社市一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設整備工事に伴う交付金の返還金及び市道修理等の道路維持経費の増額が主なもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：市道等修繕料700万円で、どのくらいの要望分の修繕ができるのか。

答：約60件の修繕ができる。

議案第53号 平成29年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別 会計補正予算（第1号）

～内容～

換地計画縦覧通知を送付することに伴う郵券料の増額が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第54号 平成29年度総社市水道事業会計補正予算（第1号）

～内容～

チューピーウォーターの出庫に伴う増額及び平成30年度から実施予定のコンビニ収納に対応するための経費の増額が主なもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：チュッピーウォーターを、8万本出荷する見込みということだが、業者から必要分だけ送ってくるのか。まとめて送ってきたものをストックしておくのか。

答：製造は2万本単位で、第8水源地に保管場所を確保している。

認定第5号 平成28年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：新規加入は何戸か。

答：20戸である。

問：使用料の不納欠損と収入未済は、それぞれ何件か。

答：不納欠損の件数は42件で、収入未済は滞納繰越分が255件、現年度分について162件である。

認定第6号 平成28年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で**認定**すべきであると決定。

～質疑～

問：収入未済は増加傾向にあるのか。

答：年々未済額が増えることに対して徴収努力をしている。年に5回滞納明細書を発送している。また、集中的に8月と12月に576回戸別徴収訪問し、8月、10月、12月、2月には電話催告をしている。さらに、平成27年度から高額滞納者に対して強制執行の可能性もあるとの通知を出している。これにより、高額滞納者から相談の件数が増えている。

認定第7号 平成28年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

特に、質疑、討論もなく採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

認定第8号 平成28年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：保留地処分の見通しはどうか。

答：平成28年度は、9筆を売払いし売却面積は、645.62平方メートルで残りの保留地は315.72平方メートルである。現在交渉中の案件は2件で、16.19平方メートルと60.31平方メートルである。残りの保留地については、地積過小や不整形なもののみであり、売却は難しいと認識している。

認定第9号 平成28年度総社市水道事業会計決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：水道料金の未収金についてどうか。

答：2年前から給水停止を軸に滞納整理を強化して実施するようにしている。水道については不納欠損を行っていない状況である。また、収納状況については、前年と比べ約700万円未収金が減っている。

認定第10号 平成28年度総社市工業用水道事業会計決算認定について

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で認定すべきであると決定。

～質疑～

問：昨年より給水量が減っているが原因は何か。

答：三菱自動車の燃費不正問題が及ぼした影響によりウイングバレイの会社自体が事業を縮小したのが原因ではないかと推測している。